

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●フェブラリーSはインティがG I 初制覇

2月17日(日)に行われたフェブラリーS(G I)では1番人気のインティ(牡5歳/栗東・野中賢二厩舎)が優勝、未勝利戦からの7連勝をマークするとともにG I初挑戦初勝利を飾りました。フェブラリーSの逃げ切り勝ちは2005年メイショウボーラー、2011年トランセンドに続く3頭目のこと。鞍上の武豊騎手は同レース通算5勝目となり、自身の持つ最多勝記録を更新。またJRAの女性ジョッキーとしては初めてJRA・G Iで騎乗した藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)のコパノキッキングは5着でした。

●高野友和調教師がJRA通算200勝を達成

2月17日(日)の1回小倉4日・第5レースではダノンバリアントが1着となり、同馬を管理する高野友和調教師(栗東)は、現役109人目となるJRA通算200勝(延べ2106頭目)を達成しました。

●藤沢和雄調教師がJRA重賞最多出走記録を更新

2月16日(土)に行われた京都牝馬S(G III)にアルーシャが出走し、同馬を管理する藤沢和雄調教師(美浦)は、延べ1033頭目のJRA重賞出走を達成しました。これは橋口弘次郎元調教師の1032頭を抜き、調教師のJRA重賞最多出走記録となります(グレード制が導入された1984年以降)。なお藤沢調教師はJRA重賞で111勝をあげており、勝利数でも最多記録を保持しています。

●エテルナミノルとレーヌミノルの競走馬登録抹消

2018年愛知杯(G III)の勝ち馬エテルナミノル(牝6歳/栗東・本田優厩舎/JRA通算30戦6勝)と、2017年桜花賞(G I)などの勝ち馬レーヌミノル(牝5歳/栗東・本田優厩舎/JRA通算20戦3勝)は、2月20日(水)付で競走馬登録を抹消されました。両馬とも北海道新ひだか町のフジワラファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●たんぼ賞(佐賀)はJRAの熊本産馬エリーバラードが優勝

九州産3歳馬限定戦のたんぼ賞(2月19日、佐賀、1400円、JRA所属馬は500万円以下)は、エリーバラード(駿島克也騎手=佐賀、牝、父アルデバランII)が3番手から4コーナーで先頭に立って直線の競り合いを制し、単勝1.8倍の支持に応えています。

●桜花賞・皐月賞トライアルに4頭の地方在籍馬が登録

報知杯弥生賞(G II、3月3日、中山、皐月賞への優先出走は3着以内)にナイママ(川崎)、アネモネS(L、3月10日、中山、桜花賞への優先出走は2着以内)にトーセングネット(浦和)、報知杯フィリーズレビュー(G II、3月10日、阪神、桜花賞への優先出走は3着以内)にアリアナティエ(兵庫)、若葉S(L、3月16日、阪神、皐月賞への優先出走は2着以内)にオオエフォーチュン(兵庫)が登録しました。芝実績のあるナイママは、近走の不振が気かりです。

●ビスカリアらが出走、2月27日のエンプレス杯(川崎)

エンプレス杯(Jpn II、2月27日、川崎、2100円)は、TCK女王盃圧勝のビスカリア、プリンシアコメータ、サルサディオオーネ、ミッシングリンクの4頭が拮抗しており、どれが勝っても不思議ではありません。他にJRAからはキンショーユキヒメが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G2アポロS〜ウィンクスが休み明けを制して30連勝達成

2月16日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われたG2アポロS(3歳上、芝1400円)はウィンクス(牝7歳、父ストリートクライ、C.ウォラー厩舎)が中団待機から鋭く伸びて、ドンカスターマイルを含むG1・3勝のハッピークラッパーに2.3馬身差をつけて優勝。昨年10月27日のG1コックスプレート以来となるレースを制して、2015年5月のG3サンシャインコーストグニーから続く連勝を30(全て重賞)にまで伸ばしました。

●香港のビューティージェネレーションも連勝を伸ばす

昨年の『ロンジンワールドベストレースホースランキング』の芝マイル部門ではウィンクスと並んで世界一の評価を得た香港のビューティージェネレーション(騾6歳、父ロードトゥロック、J.ムーア厩舎)が2月17日に香港のシャティン競馬場で行われたG1クイーンズシルバージュビリーC(3歳上、芝1400円)に優勝。昨年4月のG1チャンピオンズマイルから続く連勝を7にまで伸ばしました。また、この1レース後にはG1香港ゴールドC(3歳上、芝2000円)が行われ、昨年12月のG1香港ヴァーズの勝ち馬エグザルタント(騾5歳、父テオフィロ、A.クルーズ厩舎)が3連勝で2度目のG1制覇を果たしています。